

# 商業科目「簿記」における協働的な学習によって

思考・表現し、新たな発見や気づきができる生徒の育成

—ICT端末を活用した学習と自らの学習の振り返りを通して—

特別研修員 商業 小林 大和（高等学校教諭）

## 【生徒の実態】

身に付けた知識・技能を深められず、学習の振り返りができていない。



## 【教師の課題】

教師主導の一斉指導や問題演習に重点を置くことが多い。



## 【目指す生徒像】

- ・協働的な学習によって思考・表現ができる
- ・学習の振り返りを行い、新たな発見や気づきができる



## 【個別学習】

個人の考えをワークシートに記入する。



## 【協働学習】

個人の考えを基に協働的な学習を通して整理する。



## 【発表】

グループの考えをクラス全体に共有する。



## 【振り返り】

学習の振り返りを行うことで新たな発見や気づきができる。



## 【手立て1】協働的な学習

### 【個別学習】ワークシート

**消費税の意味**

「...」商品の販売やサービスの提供に対して課税される商品（...）が負担するが、（...）が徴収し納付している。

たとえば、商品を仕入れたときに¥1,000の消費税を払い、販売したときに¥1,100の消費税を納付している場合、納付する消費税は¥500（¥1,500-1,000）となる。

**消費税に関する基本的な仕訳(税込方式)**

売上の商額を税込方式で仕訳する...

①仕入商品 ¥1,000(消費税 ¥0)を仕入れ、代金は現金で支払った。  
②商品 ¥1,100(消費税 ¥100)で売渡し、代金は現金で受け取った。  
③商品Aの仕入と商品Bの仕入を仕訳する。

① (借) (貸)  
② (借) (貸)  
③ (借) (貸)

**前時**

**本時**

【これまでの学習で学んだ消費税の意味や徴収方式・税込方式の特徴について書き出してみよう！】

**消費税に関する基本的な仕訳(税込方式)**

消費税の処理方法には、（...）と（...）がある。

税込方式（...）と（...）がある。

①仕入商品 ¥1,000(消費税 ¥0)を仕入れ、代金は現金で支払った。  
②商品 ¥1,100(消費税 ¥100)で売渡し、代金は現金で受け取った。  
③商品Aの仕入と商品Bの仕入を仕訳する。

① (借) (貸)  
② (借) (貸)  
③ (借) (貸)

**まとめ**

【これまでの学習で学んだ消費税の意味や徴収方式・税込方式の特徴について書き出してみよう！】

### 【協働学習】デジタルホワイトボード 各自が記入した内容を入力し整理する

#### 消費税の意味や税込方式・税込方式について

**< 税込方式 >**

3つの勘定科目

仕入消費税 (売上)

仕入or売上 + 消費税 = 合計

消費税を別で仕訳しておく

**< 税込方式 >**

税込方式では税別を合せて仕訳を行う

未払消費税

消費税を「仕入・売上」に含める

**< 意味・その他 >**

消費者が負担し、企業が納付する。

直接負担だからが納付してはならない

10%

場合によっては8%

### 【発表】インタラクティブプレゼンテーションソフト

発表に対する評価を即時に行き可視化する

共通点が理解しやすい	説明がわかりやすかったです
違いだけでなく、共通点もまとめられてよかった	税込方式と税込方式の違いがわかりやすかったです
内容がわかりやすかった	共通点などまとめてありわかりやすかった

## 【手立て2】学習の振り返り

### 【ルーブリック評価】

	A	B	C
思考・判断・表現 (デジタルホワイトボード)	消費税の意味や税込方式・税込方式の相違点をまとめることができ、創意工夫がなされている。	消費税の意味や税込方式の意味や相違点をまとめることができる。	消費税の意味や税込方式の意味や相違点を分けられていない。

評価基準を示し発表したグループに対する評価を教師が行う。各自がグループで作成したデジタルホワイトボードを自己評価する。

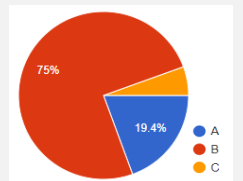
### 【振り返り】アンケート作成ソフト

#### アンケート項目

- デジタルホワイトボードについて
  - 自己評価
  - 評価の理由
- グループ学習について
  - 役割分担
  - 役割に対する取り組み
- 考えてみよう
  - 消費税についてまとめる (80~100字)
  - 税込方式・税込方式のメリット・デメリット



1 (1) → 自己評価の結果



#### 1 (2) → 自己調整力の向上

上手くまとめられていたとおもいますが、2班がAとBの項目だと考えると自分たちの班はBだと思った。

#### 3 (1) → 学習内容の要約

消費税は、商品の販売やサービスの提供に対して課せられる税金のことで、消費者が負担するが徴収と納付は企業が行う。そして、消費税の処理方法には税込方式と税込方式がある。

#### 3 (2) → 新たな発見や気づき

税込方式のメリットは、すぐに消費税の価格が分かること。デメリットは、期末の際に仮とつものものをなくさないといけないため仮受消費税と仮払消費税を書かないといけないこと。(複雑)

税込方式のメリットは、消費税込みで仕訳がされているので仕訳が見やすい。仕入や売上に消費税が加わっているため消費税額がいくらか計算しないと分からない。また期末で未払消費税を求めるときは消費税から支払った消費税を引くため計算することが多い。

## 成果

- ・【手立て1】協働して作成・編集を行えることで思考力・表現力を高め、発表評価が即時に共有することができた。
- ・【手立て2】協働的な学習で深めた理解を振り返ることで、新たな発見・気づきを把握することができた。
- ・副次的な成果として振り返りの提出率が100%となったことや自己調整力の向上に有効な手立てであることも分かった。

## 課題

- ・協働的な学習の時間配分を20分と設定したが、詳細な時間設定をして活動を明確にする必要がある。
- ・発表の質を向上させるために批判的思考を取り入れ、評価者の思考を高める手立てが必要である。
- ・どのような工夫をすればAの評価となるかを思考させる必要がある。